

平成 23 年度 建設産業新入社員研修 実施報告書 ダイジェスト版



平成 23 年 4 月

主催 社団法人 静岡県建設業協会

社団法人 山梨県建設業協会

協力 富士教育訓練センター

1. 研修実施要領

(1) 研修の目的

今日の建設産業を取り巻く環境は、経営的には官民の建設投資の縮減などにより厳しい状況が続いており、また、クライアントのニーズも価値観やライフスタイルの変化に伴い、より多様で高度化傾向にある。このような状況に適確に対応するためには、これまでの既成システムや価値観を改新し、新しいニーズに即したビジネスモデルの構築、経営体質の強化、技術力の向上、人材育成などに取り組んでいく必要がある。

本研修は、今春、新たに建設産業人となったフレッシュマンを対象に、動機付けや資質の向上ならびに行動力のパワーアップを図り、建設産業の将来を展望した担い手としてふさわしい社会人・企業人づくりを目指す。

(2) 研修の目標

- ①社会人・企業人としての新たな自覚を促し、積極的な行動と意識の高揚を図る。
- ②社会人・企業人の素養として必要な心構えや礼儀作法などを身につけ、資質の向上を図る。
- ③社会または企業を構成する組織の一人であることを認識すると共に、組織行動としての規範を身につけ、組織行動力を高める。
- ④参加者の交流を通じて、人的ネットワークの拡大と啓発および連帯意識を高める。
- ⑤建設産業の実態と将来動向ならびに労働環境への認識を深め、果たす役割や取り組み方向などの思考を高める。

(3) 研修実施期間

平成 23 年 4 月 4 日（月）～4 月 6 日（水） 2 泊 3 日

(4) 研修実施会場

「職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター」
静岡県富士宮市根原 492-8

(5) 研修参加者

①静岡県	社団法人静岡県建設業協会	34 社	65 名
②山梨県	社団法人山梨県建設業協会	7 社	14 名
③一般参加		2 社	4 名
		計	43 社 83 名

(6) 講師・スタッフ

担当	名前	所属
研修運営総括、 生活・訓練指導	安達 貢	富士教育訓練センター講師 (株)社会開発研究所 代表取締役
挨拶、ビジネスマナー、実践 話法、自己活性法等講師	花輪孝樹	富士教育訓練センター講師 花輪育英研究所 代表
労働安全衛生講師、 運営スタッフ	長岡聖一	富士教育訓練センター訓練課教官

2. 実施プログラム

1
日
目

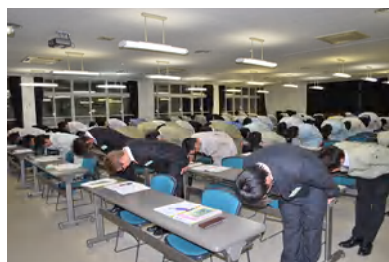
集合、受付
開講式、オリエンテーション
講義「社会人としての責任と義務」
夕食
訓練「挨拶行動」
夜の集い
入浴
就寝



「開講式」代表挨拶
山田事務局長



「挨拶行動」
・名刺交換



訓練「挨拶行動」
・基本動作の体得訓練



「朝礼」
・指差呼称

2
日
目

起床、着替え等
朝の集い、清掃
朝食、洗面
グループ演習「仕事に取り組む決意」
講義「建設産業の実態と将来動向」
昼食
講義「建設業と労働安全衛生」
休憩、チーム思考訓練準備
訓練「チーム思考訓練」
夕の集い
夕食
演習「グループ研究」
夜の集い
入浴
就寝



「朝食」



「チーム思考訓練」



「夕の集い」
・人員把握



「グループ研究」
・交流会議

3
日
目

起床、着替え等
朝の集い、清掃
朝食、洗面
演習「実践話法演習」
演習「スピーチ演習」
昼食
演習「自己活性化」
成果まとめ
閉校式
着替え
解散



「スピーチ演習」

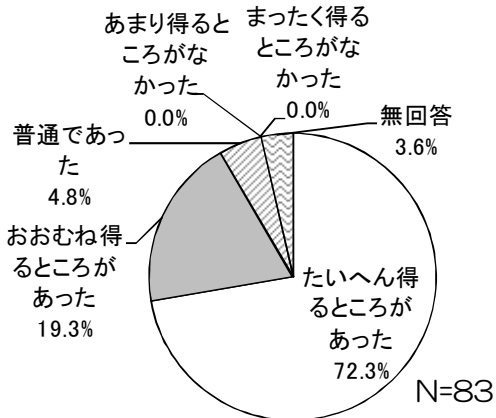


「閉講式」研修生代表挨拶

3. 研修の成果

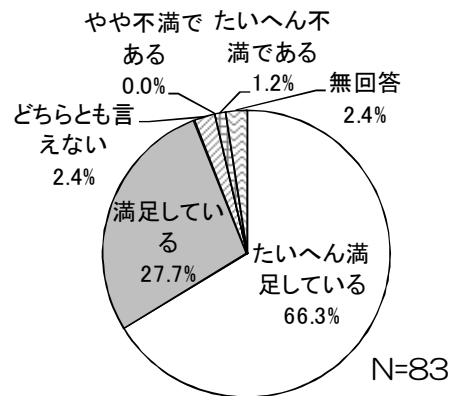
(1) 研修の全体評価

研修に対する全体評価は、91.6%の人が“得るところがあった”と評価している。



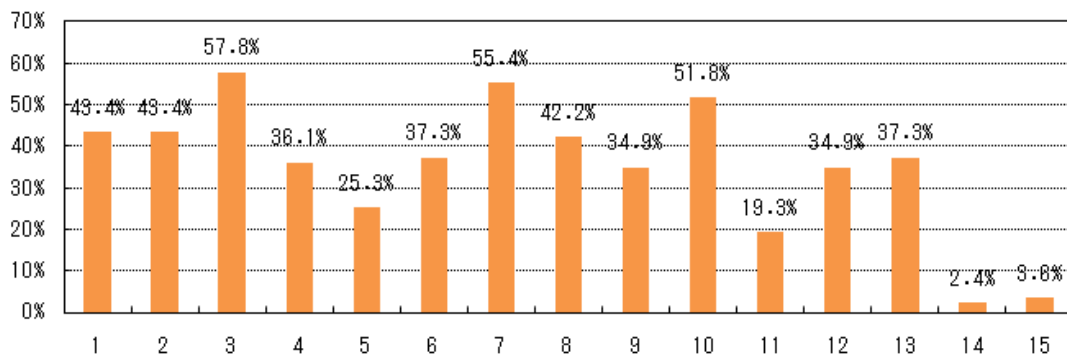
(2) 講師及びスタッフに対する評価

講師及びスタッフに対する評価は、94.0%の人が“満足している”と評価している。



(3) 研修プログラム別の好印象または役にたったもの

研修内容別で好印象または役にたったと思われるものを複数選んでもらった。その結果、「挨拶行動」が57.8%と最も多く、次いで「チーム思考訓練」の55.4%、「スピーチ演習」の51.8%などが上位を占めている。



- | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|
| 1. 集団行動訓練 | 7. チーム思考訓練 | 13. 他社の人や同僚との交流 |
| 2. 社会人としての責任と義務 | 8. グループ研究(交流会議等) | 14. その他 |
| 3. 挨拶行動 | 9. 実践話法 | 15. 無回答 |
| 4. 仕事に取り組む決意 | 10. スピーチ演習 | |
| 5. 建設産業の実態と将来動向 | 11. 他己改善と自己活性法 | |
| 6. 建設業と労働安全衛生 | 12. 合宿生活 | |

(4) 研修生の声

- 今回の研修で他社の人との交流ができ、情報交換やお互いに、これから頑張ろうと励ましあう事が出来たりしました。挨拶行動で声を出し、巣箱を作った時にチームワークの大切さを知りました。
- とてもためになる研修でした。ひとまわり変わった自分の姿を会社に帰って見せたいと思います。3日間ありがとうございました。